

#### 1 学期 創造力・職業観を育む

1学期は、一人ひとりが京都橘にまつわるネタを考えて『たちばな あるあるかるた』を作成しました。



さらに、職業観を育むために『職業調べ』『職業体験』、製薬会社の方を講師として招き“職業観”をテーマとした『講演会』を行いました。



#### 3 学期 思考力・表現力をさらに鍛える

3学期前半は、中1生に向けて、2学期に作成した『学校案内パンフレット』での苦労や工夫したこと、やりがいなどをプレゼンテーションします。



後半は、中3での研修旅行に関する事前学習を行い、調べた内容についてポスターを作成します。



#### 2 学期 仲間と作る『学校案内パンフレット』で協働力を身につける

立候補で決まった編集委員を中心に、3~4名でグループを組み、ページと役割を分担して作業を進めます。そしてグループで作成したページのデータを編集委員が受け取り、全体の統一感を持たせるために調整や編集をしていきます。



1組は、施設紹介・授業紹介・学校での一日のスケジュール・制服紹介・先生紹介などのコンテンツで展開。写真の使い方や色づかいを工夫して、コンセプトに沿った「明るい学校案内」にしています。



2組は、教科紹介・校長先生&教頭先生からのメッセージ・制服&施設紹介に加えて、高校生の先輩紹介・先輩のノート公開・入学して驚いたことランキングという構成で展開し、各コンテンツに「在校生から見た〇〇」というコラムを記載して「中学生目線を大切に」というテーマをかたちにしています。

#### Teachers' Voice★

1学期の総合学習では社会に目を向け、2学期で学校案内パンフレット作成に取り組むことで、協働して答えのない問いに向かって皆で考え、行動することを体験しました。そして3学期にその経験を後輩へ伝えます。



2年1組担任 友田 哲平先生

本校の生徒は、中1から調べ学習、発表を繰り返しているため、新しい取り組みを前にしても恐れることなく楽しんで取り組んでくれました。今回の学校案内パンフレット作成にも意欲的に取り組み、期待以上の良いものができたと思います。

京都橘の総合学習は“本物に触れる”をキーワードに、好奇心を刺激し、自ら課題を見つけ、学ぶ姿勢を養っています。コロナ禍で学外に出向くことができなくなり、代替案としてオンラインで企業の方に協力してもらい職業観を育む機会としました。たとえば製薬会社の方からは「病院へ行くほどでもないけれど、体調が悪くないときの手助けになる薬を開発しています」というお話がありました。作る人たちの思いに触れることで、社会のために働くとはどういうことかと考える機会になりました。



2年2組担任 佐々木翔太先生

生徒目線で橘の魅力  
を伝える『学校案内  
パンフレット作成』  
身近なことに興味を持ち、自ら課題  
を発見し、解決に向けて周りの人と協  
働する。同校ではこの力を“探究力”  
と称し、総合学習の授業を通じて培っ  
ていきます。従来の総合学習では、中1  
で飲料メーカーの工場見学や大学の研  
究者を招いての出前授業を、中2では  
仕事体験や企業見学、中3では京都橘  
大学での救急救命体験や、卒業論文作  
成などに取り組んできました。  
これらに加えて、2021年度から  
は中2の2学期に『学校案内パンフ  
レットを作ろう!』という新しい取り  
組みが始まりました。自分たちで企画・  
取材・編集を行い、オープンキャンパ  
スで来校者へ紹介します。  
学校案内パンフレットは、学校の  
魅力を学外の方へ伝えるための大切  
な資料です。生徒たちは改めて京都  
橘の魅力を見直し、それを効果的に  
伝えるためのアイデアを出し合いま  
した。各クラスで打ち出されたコンセ  
プトは、1組は「明るさ」、2組は「中  
学生目線で小学生へ」。  
次に誌面・ページ構成を決め、それ  
に基づいたインタビューや撮影などの  
取材を行い、原稿作成に取りかかしま  
す。制作にあたり、同校のパンフレッ

ト制作担当者より「思いをかたちにす  
る」というテーマで講演会が行われま  
した。彼らがどのような思いで日々も  
のづくりをしているのか、気をつけて  
いる点は何かというお話に、生徒たち  
は真剣な表情で耳を傾けていたそう  
です。  
そのお話をもとに、企画やコンテン  
ツを練り、より良い表現方法を模索し  
て改善策を考えるなど、授業は回を重  
ねることに熱気を帯びました。それ  
いよいよ印刷に取りかかる直前の、仕  
上げ作業が始まりました。各クラスと  
も、全員で各ページの校正に取り組み  
ます。2組担任の佐々木翔太先生は、  
あるページを示して「この表現は、日  
本語として正しいかどうか調べた?」  
と皆に問いかけていました。また、1  
組担任の友田哲平先生は、漢字の送り  
がなの間違いを指摘し、「何度も皆で  
見ている、見落としが出てきます。  
気を引き締めてもう一回チェックしよ  
う」とアドバイスを送ります。生徒た  
ちは初めての作業に戸惑いながらも、  
仲間と相談しながら誌面を見直し始め  
ました。仕上げ作業に取りかかった生  
徒たちの真剣な姿からは、「自分たち  
の手で、自分たちにしかできない最高  
のパンフレットを作りたい」「生徒目  
線ならではの京都橘の魅力を伝えたい  
」「見た人が行きたくなるような学  
校案内を作りたい」という強い思いが  
伝わってきました。



学校案内パンフレットは、タブレット端末を使用して作成。画面上で、文章作成やレイアウトができるだけでなく、どこにいても皆で情報共有ができる学習支援アプリ『ロイノート・スクール』を活用。

### 自ら課題を見つけ、自ら学ぶ 中学3年間の総合学習で“探究力”を高める



# 好奇心を刺激し、主体的な学習意欲を促す 総合学習は、楽しみながら「探究力」を養う学びの場



完成した学校案内パンフレットはこちら!!

—1学期の総合学習で作成した『ちばなあるあるかるた』とは、どのようなものですか？

佐々木先生 京都橘ならではの、あるあるネタで札を構成した、あいうえおかるたです。皆でアイデアを出し合い、イラストも自分たちで描き楽しいかるたになりました。

Tさん 私は「と」を担当。「トイレに女子たまりがち」という札を作成しました(笑)。

Oさん 私は「き」で、「キラキラ輝く授業の笑顔」にしました。

友田先生 かるたが完成した後は、クラス対抗かるた取り合戦をして盛り上がりましたね。熱気がすごかったのを覚えています。

—楽しそうですね。では、1学期のその他の取り組みも教えてください。

友田先生 『職業調べ』は、以前は企業に協力していただき、職業体験をしていたのですが、現在はコロナで中止に。そ

で、各自、職種を決めて職業を調べて、調べた内容をパワーポイントでまとめて、発表を行いました。Oさんは優秀賞に選ばれましたね。

Oさん 私の夢は小学校の先生になることです。小学校の先生に関する情報が検索できるサイトを閲覧しながら、自分なりに職業を掘り下げてみました。調べるうちに、「生徒の成長を感じるたびにやりがいを感じる」という先生が多いことに気づきました。私は教えることが好きだから先生になりたいと考えていたのですが、教えるの成長にやりがいを感じるんだと知って、ますます興味湧きました。このような発見があったことが、次の行動につながっていくのではないかと思います。



職業調べで新しい発見が！  
Tさん

—皆さんは、「学校案内パンフレット作成」の編集委員に立候補をしたそうですね。立候補の理由を教えてください。

Tさん 面白そうな取り組みだと思いましたし、自分にできることを精いっぱいやって良いものを作りたいと考えたからです。デザインにも興味がありました。

Oさん 編集委員は、クラス全員が集めた情報を集約する役目があるので、挑戦したいと思いました。Tさんと同じで私もデザインに興味がありました。

Nさん 仲の良い友だちが編集委員に立候補すると聞いて興味湧いたのと、クラスの力を結集して良いものを作る役目を果たしたいと思ったからです。

Kくん 人前で話をするのが苦手でしたが、編集委員をすることで苦手が克服できるかもと考え、立候補しました。

友田先生 Kくんは、情報機器に関する知識があります。編集はタブレット端末を使って、学習支援アプリ「ロイロノート」を使うのですが、Kくんは特に上手くロイロノートを使うので、本当に助かりました。

—1組は「明るい学校案内」、2組は「中学生の目線を大切に」というコンセプトで、作成に取り組んでおられます。どのようなことで苦労しましたか？

—したか？

Tさん グループごとにページを担当して作ったので、全ページを通して見たときにイメージがバラバラにならないように、色使いなどを工夫して統一感を出すところに苦労しました。同じ色を見ても、人によって感じ方が違うということに驚きました。意見が分かれてしまったことも何度もありました。

Oさん 表紙と裏表紙がなかなか決まらず、何を決め手にするべきなのかわからなくなってしまつて…。頭を抱えたこともあります。

Nさん 全員にスケジュールを伝えていましたが、グループによって進み具合が違い、締め切り日を過ぎててもデータの提出がないグループもあり、調整に苦労しました。

Kくん コンセプトを伝えても、できたものを見ると「これは違うなあ」と感じることもあり、イメージを皆で共有するのは難しいと実感しました。また、写真



考えることが好きになった！  
Nさん

—今回の取り組みで、学んだことは？

Tさん 小学生が手に取ったときにワクワクする感じって何かなと、相手の目線に立つって考えるようになったのと、皆で協力してひとつのものを作る喜びを知りました。

Oさん 外部の方にはできないもの、在校生の自分たちにしかできないもの、こだわり、ものづくりの楽しさを知りました。そして、「私が小学生なら」と想像することで世界が広がるように感じました。

Nさん 私たちにはできないことって何だろうと、突き詰めて考えることそのものが楽しかったです。

Kくん 最初は小学生が読んで京都橘に興味を持ってもらうことを意識して

いましたが、進めるうちに、保護者にも「京都橘に子どもを通わせたい」と思ってもらえる内容を取り入れようと考えようになりました。考えが発展していく面白さを実感しました。

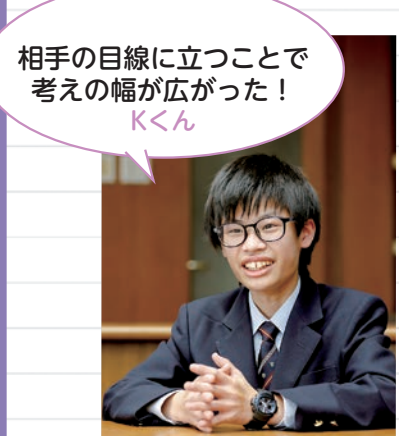
—先生から見ても、生徒はどのように取り組んでいましたか？

友田先生 「ロイロノート」は、どこにいても皆とつながることができるアプリです。帰宅してからも、作業が遅れている箇所を作成するために、皆が自発的にアプリを開いてコミュニケーションを取りながら作成していたのを見て、頼もしさを感じました。

佐々木先生 ものづくりにつきものの、頑張っているもなぜか前に進まなくなっている感覚、そこから抜け出すための試行錯誤が良い経験になったと思います。この取り組みは、次年度も引き続き行う予定です。毎回、オープンキャンパスで紹介していますから、楽しみにしてください。



ものづくりって楽しい!!  
Oさん



相手の目線に立つことで  
考えの幅が広がった！  
Kくん